

ハッピー子育て

か る た

ひ ろ ば

みなさん、こんにちは！先月アメリカに行きました。卒業式に出席しましたが、膝上10cmの赤いひらひらワンピースを着た中年女性やTシャツ、サンダル姿の保護者がいました。驚きのあまり「それはないだろう」とダメ出しを脳内でする自分に気が付きました。あ～小さい自分、これがアメリカ人だよ、本人がいいんだからそれでいいじゃないか、それがいいじゃないかってじわじわきました。人の好みも考え方も多様なアメリカ。真の多様性って、他人の好みに対してダメ出ししないメンタリティなんですよね。私も好きな服着て、好きなことしてみよう！



☆読み手☆

鈴木 裕美（すずき ひろみ）
香川大学医学部 小児科専門医

46

ほめられると

子どもは学ぶ

他人のいいところ探し

許容する 広いこころ



45

だめだしされると

子どもは学ぶ

他人のあらさがしと
批判 悪口



今月のかるた解説

良くも悪くも子どもは親を見本として、親の言動をまねるものです。もちろん、子どもを良い方向に導きたいがために改善すべき点を指摘（つまり、ダメ出し）するわけですが、それを頻繁にイライラしながら言葉を荒げていうと、もはや他人のあらさがしと一緒になんですよ。自分が気に入らないことを指摘し、批判する。ある意味、面と向かって悪口言っているのと同じです。昔、娘にそんなことをしていたら、友達の悪口ばかり言って、人に寛容になれず、友達の少ない子になってしまいました。

それではいけないと心を入れ替え、子どもをほめようと「いいところ探し」に集中してみました。子どもとのぎすぎすした関係が笑顔の多い心地の良い関係になった上に、娘が明るくなり、友達が増え、人のちょっとしたミスや不快な言動にも「そういうこともある」「そういう人もいるよね」と許容できるようになったのです！子どもの対人関係は親子関係がテンプレートになっていると実感しました。いいところ探しができ、それを素直に口にすることができたら、対人関係がうまくいくのではないのでしょうか。親ができることができる「より良く生きるための最高のギフト」になると思います。

